募約豫

星進本見容內

M 切 10 n 5 n

町保神南區田神市京東

・九〇一二・八〇一二 大地 カニ大二・一八二一 脱新

卷二十二全

(日声水)

原除八藏八河小中米河原原中米 村川

貴編 任 科 原中米! 白正貝

最直 語 3

先

真に現代日本の聖典。 宰相·百世 開について 字を

相の

熱情に!!

がするなら

**ノをおあがり**なさい

寄特稿別

頂きたいものです。 と三度に及んだ。 と三度に及んだ。 は、他に断じてな 演說

解禁の鍵は井上氏の手中にあり

熱情と鐵の如き決問題を縱橫に論議し、全國民に向つて関系縱橫に論議 つて

價定 壹 約二百余頁

門

八五〇

大原式羽毛蒲凰購買會募集

六ヶ月満了金六圓掛

く至極安心であります。と、これの完備、原料の精撰、技術の優秀は未だ曾て數を見ず輕く工場の完備、原料の精撰、技術の優秀は未だ曾て數を見ず輕く東洋一の定評ある大原式羽毛布トンは如何なるもの。 1 大原商會大連支店

改造 過 器料四號

隊軍のアシロ農勢 肉皮の然自とり崇の明文 會總働勞際國國二十年 街 躍活の班真寫空航社造改

の再建と展開 島 

榮 治

郎

-山吉 佐 微坡也子寬介義

温出 融か 編長 説か 間 大燃 ま ぐもの 酱

岩藤

川端 森田 谷崎潤一郎 康 草 E 成 平

青.

野

季

古

齋

茂

吉

批評 るな 圍する速 を制定され 山馬加川場田 横林濱 室 溝 尾 生 末弘嚴太郎 米田庄太郎 島 正房四犀

恒哲

均吾

史雄郎星

精

決議事項

決議事項

校公座堂教育市際上に於

### **开教育會二十周年記念總會第** 機長は前日委長院に就いて直

特に改善を要すべき機洲に於ける教育上

こ、學校教育に關すい。 を教科書編輯機關を加盟を加盟を 教育書編輯機關を加盟を 調一制を打破し學校 3 教職員の単化 はかること はかること はかること 対権國規則を制定すること 対権國規則を制定すること 関一間を打破し學校長の自由 関一間を打破し學校長の自由 四、対職を

全動機を向バ弱立を重んじ賀實 制能の美風を養成すること 制能の美風を養成すること 多期に於ける體育運動に関す る施設を完備し其方法を改善 すること すること

1、緩緊平和の精神凋養 イ、正義の觀念、體觀の心人類 愛の精神を養ひ將來の緩原親 愛の精神を養ひ將來の緩原親 整は青少年の責任にあること を自覺せしめる を自覺せしめる と自覺せしめると同 下和運動を理解せしめると同 時に平和の思想を傾々の信仰

1 實業補習數育及青年訓練を一二、社會教育に属する事項、 日華兩國語の普及撤騰をはかへ教育の普及充實をはかると極業指導に一層努力すること 

一数楽し自給自足の途を

質質開鍵進取の頻象の脳精神の方面 動勢愛好の習慣を産成す

兩委員會の決議に異議なし

満場一致を以て可決

希 望 本會は本農業が必ず買現されん なりは希望す 小學校公學堂兒童に 成学である。 が學校公學堂兒童に 地となす信念の確立地に親しみ箱民地を 追儺共存共栗の悪念 遊成及それに

ではりて進行すること ではりて進行すること

を改称するため委員會を設定せん お歌十九條に依り巡用不能の條約

冉び混亂か

以上方案管理に就ては別に實行管理方法

満洲における

数年にして五六十萬の日本民族を慶初代滿簾像説は、就任の書時「

消費節約の目標

富永能雄

南部を設けること

3

ること) 聯絡會を臨時開催 後事せるものは悉く之を網・教育者(布も教育教化事

一、教育審議委員會を設置するこ

輸出入品制限撤廢條約

關東州にも適用

要員會にて<br />
幣原外相答ふ

同標常然本館的の適用ありと答へた。「東京廿四日設置」輸出入品の総関脈総統約続は廿四日の脳神総否委員會で可決されたが、同委員會 大地に生息する事の事實を要求する事の事實を要求する。 大口解決の信めとは云はね。 唯五 であらう。 放て吾人は日本の であらう。 放て吾人は日本の であらう。 放て吾人は日本の の一日の日給を試算すれば一人常 の一日の日給を試算すれば一人常 の一日の日給を試算すれば一人常

図録山:駅野良等の反変類型は する傾向あり香港に在りと傳へ られる共産素の汪未銘書玉幹、 られる共産素の汪未銘書玉幹、

二省獨立宣言說

蔣氏の腹心何應欽氏は辭職し

谷地漸やく動搖の兆

は耐ふべくもない。簡新北。江西、慶東の三省は底に敷立質質を繰したと彫製側内は時間関係に在ること明由で、南京は表面冷鬱を装へるも名地のの1、監整中の方景武氏は三十二日南京を脱出し安徽省に置つた事實あり、

現代の個として、略神奈山縣の 関大であらうか、神奈山縣の とは、人口百萬を入れるに不 のであらうか、神奈山縣の は、人口百萬を入れるに不 口百五十萬を持つてゐる)。 他の晋行政 地區内 に耐はらぬの 別人が居るのに「何故に本邦人は 関東州には百萬に近い數字の支

政治的意味を除外して)表もるもであって、他の一つは補業の經濟統和用をであって、他の一つは日本人の補助の件である。

的がある。

地方鉛の下に料本の満州観索が起 助設が確定した。私共は此時気に 野し、今日の日本の管景に履し、 野し、今日の日本の管景に履し、 野し、今日の日本の管景に履し、

解答し確保し得る唯

體の為に

高に手を築むべきか、それと を日本の施設は、満洲それ自 の日本の施設は、満洲それ自

は事實である。
以て命を觸いで居り、東北の影彩
以て命を觸いで居り、東北の影彩
は事實である。
製な神響を生むだ日本のが村人には立が
今は禁撃である。
型級である。
「東北の影彩
有は毎年内地を旅行する母に、髪して吾
るが、今の日本のが村人には立が
の日本のおい郷民の間に
ことが、今の日本のおい郷民の間に あるのかり

互に風俗習慣を意頂せし 見電日常の智 線の機會を作りて観 動を慣ましめ

の改善に

必要なる

**玄諸事項** 

を可決す

諮問に對する答申案を附議

教育會總會第一

日

音を作る。開機数育者間の勝和親変の 教育者自ら見童に其の職を 言語政済の充實徹底を圖る 習慣及國民性の研究調

2、貴困兒不具兒救濟教育機關1、家庭環境の美事1、家庭環境の美事 観察をなさしめる 内地に出來るだけ多數 (A) 就會の指導的地位に立つ もの、自重 (二) 淳良なる風俗り 全なる家を

等教育部會問題

二、三項を質現する方法とし 社會公共の方面に銓力を

化を向上せしむる良満洲に於ける精神文 社會的方面の事業をも行

(ロ) 社會の各方面の代表者と 悪談する機關を設くること 製化の普及を計ること 製化の普及を計ること を 対し、社會教育に養する認め調

本會協議宣言の 重大効果を期待 神田議長の閉會の挨捗

蔣介石氏日く

▲大連中華基督教體育會選征團員 一行六名二十四日入港の得利號

合部隊に逮捕を命令

聯盟法律委員會

支那の時局は

「事天精體二十四日産」比程城内 を遊行し認んな宣順を行つて灌鵬 から露支國漿に出動せる凝脈大 た、之がため王脳常氏は内部にな た、之がため王脳常氏は内部にな がる意外なる事件突接を被り返 がある事件突接を被り がある事件を表すを被り がある事件を表すを被り がある事件を表すを被り がある事件を表すを使り がある。

家屋拂底の

狀況を調査する

にて芝罘より摩迦 本朝鮮江原道公立師範學校構群旅 行團一行二十二名、信廣教塾に 引率せられ二十四日入港の群海 丸にて仁川より來連 地に引率せられ二十四日入港の群海 地に引率せられ二十四日入港の群海 地に引率せられ二十四日入港の群海 地に引率せられ二十四日入港の群海 地に引率せられ同十八名石川教監 に引率せられ同十八名石川教監 正日朝慶任の豫定

悪家主の跋扈に鑑み

幣原外相閣議で報告 大連民政署通牒を殺す

最近大連の人口は急酸に増加し、 とに中流以下細足の住宅は髄度に動
とに中流以下細足の住宅は髄度に動
とに中流以下細足の住宅は髄度に動
とに中流以下細足の住宅は髄度に動
のでは連風探光も充分でない非細生
のでは連風探光も充分でない非細生
のでは連風探光も充分でない非細生
のでは連風探光も充分でない非細生
のでは連風探光も充分でない非細生
のを機関し、後等のモットーたも
からるを機関し、後等のモットーたも
かり、一大道の高家館
の機関が開発を動きするは性を影底に基
を機関し、後等のモットーたも
本人と支那人に展別し家屋
の機関が開発を動くとし今回大連各最
を機関し、後等のモットーたも
本人と支那人に展別し家屋
のため高等眼臓島駅部帯同中大連各最
が上上を表
のため高等眼臓島駅部帯同中大連各最
のため高等眼臓島駅部帯同中大連各最
が上上を表
が上上を表
のため高等眼臓島駅部帯同中大連各最
が上上を表
のため高等眼臓島駅部帯同中大連各最
が上上を表
のため高等眼臓島駅部帯同中大連各最
が上上を表
のため高等眼臓島駅部帯同中大連各最
が上上を表
のため高等眼臓島駅部帯同中大連各最
のため高等眼臓島駅部帯同中大連各最
が上上を表
のため高等眼臓島駅部帯同中五日
いたるなが、大連氏の影響が表
のため高等眼臓島駅部帯同中五日
いたるなが、大連氏の影響が表
のきるが、大連氏の影響が表
のため高等眼臓を翻した
とん

1041

ことはしないだらう  家家及名士の招聘 所能祭の機會の付限 政符遇の向上 政符遇の向上

化向上に関する

(二) 淳良なる風俗の維持と健全なる家庭の建設
(木) 高倫なる趣味の普及
三、教育者としての愛悟
の自覺

五國大使を招集か

の社會的平和事業要の際の相互救助

絶對下野せぬ ンに「揺取し台湾

学生數十名逃亡す 双城附近にて武器を抛棄して

馮庸 大 學 義 勇 軍

隊備會議開會の空氣濃厚となる 止式會議結局延期か

| 大学の主義の | 「一下ラー氏は千九百二十大年にも新 | 「百形の報酬を受けた」 シアラー氏の書翰を

向け退却した。宣興書局は張安奎 なく不穏であると での三ケ戦を武装解除して勝南に き居るが今のところ戦争の領域は 東里内に敷鑿防備をなし破別を布は反響を立てを重要を重は 取の販立宣言と共に美口郊外三十 支那軍飛機

貴院研究會

【東京二十四日發電】 實院研究會

1040 1040 1040 1040 1040 1040 

**公棚の食物、海底の棚**の程度、潮流の間係、

元の関係、水温、光線が発

本、株本有限の事業に難し、よる ・株本有限の事業に難し、よる りはなからう。不常に関はるゝ前 が成立のののでは、例に個承知

を及ぼすものであると考べる。 を及ぼすものであると考べる。 ない場合が可なり多からな。 を及ぼすものであると考べる。 が関係が可なり多からない。 をといったであると考べる。 が関係が可なり多からない。 をといったであると考べる。 がであると考べる。 が関係が可なり多からない。 をといったとない。 をといったとない。 をといったとない。 をといったとない。 をといったとない。 をといったとない。 をといったとない。 をといったとない。 をといったとない。 をといった。 をといったとない。 をといったとない。 をといったとない。 をといったとない。 をといったとない。 をといったとない。 をといったとない。 をとない。 をといったとない。 をとない。 をとなない。 をとない。 をとな、 をとない。 をとない。 をとない。 をとない。 をとな、 を、 を、 を、 を、

0

は内のこと 対内のこと

戦士の墓石

性子 (1) 地名在社 (1) 地名在社 (1) 地名在社 (1) 地名在社 (1) 地名在社 (1) 地名在社 (1) 地名 (1) 地名

提灯

牛乳

大連牛乳株式會社

A

五三七番

小鳥エサ器具一式腹質

現連町二

ターの変物が存り ターの変物が存り 地質を関すり一割引 小木誠一電七七一四番 や代町五番地前川商店 ・ 他 肥 ・ 他 肥 ・ 他 肥 ・ 他 肥 ・ 他 肥 ・ 他 肥

印書の非政職会電話

支店

印書

事語層の

満 

家内

H 報

動なきことを

店員 二名採用適方通信基督 高橋翳院 電九二一三 高橋翳院 大谷商會洗濯部 大谷商會洗濯部 高橋翳院 世九二一三

フヨウ品 湾廣骨道 電七四三五

電話 の事なら愛質金融共信用 ある三河町の 正直洋行へ

牛乳

パタークリー

電六一三四

寄り、中古の特別の

型三五電六大六三大車を力比型三五電六大六三大車を力比型三二大連業命会を指五丁目二三 大連業命会を指五丁目二三 大連業命会を指五丁目二三 大連業命会の一ピアノ舶来修理所

原夢町八九電七七七二、九四八四 原夢町八九電七七七二、九四八四

とりては、餘りダラのよい軍閥と設を氏に蔣介石氏の國民政府 して、張氏の軍職をして、張氏の軍職を 

でである。 を持有のものでなくてはならぬ。この 海深部中を禁一とする歴史性から、物の忌みを譲ひ、これを清め を対している。 でなくてはならぬ。これを清めなる。 では、そのは、そのは、そのは、そのは、そのは、そのは、そのは、そのは、と続代の太古からの尊き風が、これを清めない。

とは、何でもないやうであるがひと感情の疎隔から出張してみなく好かぬといふれている。好く好かぬといふなりである。好く好かぬといふなりであるが、何でもないやうであるが

限らず、内政的不平を對外宜庫にては、累を國民政府に及ぼさぬとはないけれども、その結果に至りはないけれども、その結果に至り氏の政治的手腕を云々するもので氏の政治的手腕を云々するもので 様において赤子なのである。すなけらこれ小なるものが多くなつて今日の繁昌を楽した。しかもその繁昌を楽した。しかもその繁島たるや皇室を中心として、その皇室を十重、二十重に続り殴みて大日本帝國といふものを構成するに至ったものである。かくの知きことは職論でなく、際史であり事 を御新際になり、宮柱ふとしき立 のである。天皇は代々、その皇居 しのである。天皇は代々、その皇居 を御新際になり、宮柱ふとしき立 りである。天皇は代々、その皇居

伊勢の大願は、わが皇宝の御代

物忌みを祓る 神ながらの御儀式 大神皇宮遷御祭 國家的國民的祭典 魅史のやうに征服などによって画 覚なのである。 機部すれば外間の

大蓑を覚揚するのである。大蓑を覚揚するのであるのではない。 本はち野十一年目に執り行はれるなはち野十一年目に執り行はれるなはち野十一年目に執り行はれるなられると共にならぬ。人子萬の園民は保護・りである。皇帝の祭りは民事の際りは民事の祭りは民事の祭りはまた皇帝の祭りはまた皇帝の祭りはまた皇帝の祭りはまた皇帝の祭りはまた皇帝の祭りなまた皇帝の祭りなまた皇帝の祭りなまた皇帝の祭りなまた皇帝の祭りなまた皇帝の祭りなまた皇帝の祭りなまた皇帝の祭りなまた皇帝の祭りなまた皇帝の祭りなまた皇帝の祭りなまた皇帝の祭りなまた皇帝の祭りなまた皇帝の祭りなまた皇帝の祭りなまた皇帝の祭りてあるといふ、郷一義的なない。

同廿六日午前十時,外宮茂清同廿七日午後八時

大船 ス用十八歳より廿五歳迄朝日廣場 旭亭 電三四五三 水紀 さん入用水入寒じ

招聘固定給支給

高に 高に 第二章 は 京に 第二章 は 京に 変れば 変を ができず 変形で では 変形で ででは 変形で ででは 変形で ででは 変形で ででは 変形で でである。 ででは 変形で でである。 ででる。 でである。 ででる。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででる。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででする。 でです。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででる。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででる。 でででででる。 ででる。 でででる。 ででる。 でででる。 でででる。 でででる。 でででる。 でででる。 ででででででる。 でででる。 ででる。 でで

ハガロッソー

語四〇二三へ

井町大連製肉所

同十九日同 外宫御同十九日同 外宫御同十九日同 外宫御同十五日午後一時宇治標

龍六時 内宮大御

満蒙館を見物して

英語

アリカ 所名 では、 一大連警城町通五人 南海堂眉山 大連警城町通五人 南海堂眉山 常経機 常経機 常経機 常経機

**甲** 大連市但馬町二二

川町一 池内 電八六七五 瀬戸物へ彫り込み

金融 信用並に電話其他 保 迅 速

て一丸とした吉林學生抗飲後援會出でたので十七日男女學生を打つ

邦文

通 日本タイプライタ會社 中前、午後、夜間 で前、午後、夜間

絨毯

不用品

伊勢町の

の瀬戸彫り

電四五六四、

六八四六

利計る三河町金州

ミシッと警音器は

常盤樋河島ミシン店電六六八四

邦文 タイピスト短期養成

一世界の大麻を奉祀し申す所以の の職等の機通をシュポルして儲すと ころないものといはねばならぬ。 との、と題と人展、、配して を整と展民、墓跡と大麻、配して を変かれば、われ、人が来月一日の ない、大麻と園民との三角連楽闘係を考してこの十月二日を以て擧行せ の職等がれば、われ、人が来月一日の ない、大麻と園民との三角連楽闘係を考してこの十月二日を以て擧行せ の、大麻と園民との三角連楽闘係を考してこの十月二日を以て擧行せ の、大麻と園民との三角連楽闘係を考してこの十月二日を以て擧行せ の、大麻と園民との三角連楽闘係を考して。一年八十六萬五 を変合せ、昭和五年度に至 を記御の僧の前機および翌日の であって、政府も大正十年、 に、カれ、人が来月一日の 像を合せ、昭和五年度に至 が、北年歌宮に際し、一日の休日を職 修されるのであって、での大家は た月十三日午前十時内宮御戸祭 からのであって、一大の大家は た月十三日午前十時内宮御戸祭 からのと、はれる。こ 同十五日同

群雄割據 の四川

明會以來の レコード

最優勢なるは劉湘軍

だつたといふ

対众九千殿闘力薄弱なり 一件 川峡邊防司令として所

牡蠣とチフス

各國に於ける取締法

調東州の本地圏にむいては直接研 をはして居らぬの然し今後通業の は州内の産業登差の倡め、喜んで 御下令に駆する。

ウキリアム、パーク氏は、 かまして臭れ 水る程 度迄、減虚して臭れを大に減少するが、吾人の安心を大に減少するが、吾人の安心

やうの之に就いて米國の衛生職者たら良からうと云ふ質問が必ず出

ルカルクで消毒して食べ

加

は と述べた、併し懸素法に続いては のがあると思ふ。 ・ 産化法として解釈楽研究すべきも

で、保証組を送も施行してあるで、保証組を送ります。 ・ 保証組を送りを ・ 保証組を送りを ・ 保証組を ・ 保証組を ・ 保証組を ・ 保証組を ・ という ・ にいる ・ に いと云はれた。州内の歌

のはない。併し爰に御髪考姿に、ではない。併し爰に御髪考姿に、 最近愛表された上海居餅地紙生富 野の『微生上の諸注意』と云ふ小 勝の『微生上の諸注意』と云ふ小

の自身作用の類別は、概者の である。前記社類の監 である。前記社類の監 である。前記社類の監 である。前記社類の監

ウ 満版方法」と影響な関係がある。 ・ のがあれば、この問題であらう を ものがあれば、この問題であらう

年級一千萬醋も蔵出し様ると云 物である。 響である。

運と共に随腹に現はれてくるであった事を搬はねば骸飛、「牡腸、生」 の活動を搬はねば骸飛、「牡腸、生」 の活動を搬はねば骸飛、「牡腸、生」

この後、我人間生に関係あるもって、州内社県生産変者の影響に致ては から」と 5 年齢が 一日も早く到来

所任人日午前十時 內宮神藥院 同日同 同日同 同日同 同日同 一月一日午前入時 內宮經籍 一月一日午前入時 內宮經籍 小月一日午前入時 內宮遊錦藻 同午前十時 內宮遊錦藻 同午前十時 內宮遊錦藻 朝博人場者 F 破り

男生と共力して運動することを申に就ては壓器の處殊に中等以上學に就ては壓器の處殊に中等以上學

吉林反露運動

女給

建築協會食堂間ニーヨウ 駅油第二市場機 駅油第二市場機

古本

理常盤腐廃千山閣電四三六二年の開度地通して頂升

ラヂ

不用 品高質賞入れ御報次第多美濃町七九番 無高質質入れ御報次第多 大谷商店 大谷商店 大谷商店

吉野町 ライオン 電六二

抵順市敦賀町

カフェー木村

商品祭

が公債債券 夏貝金融 では、大人民債債券

水島 柳島其類一式 柳島其類一式

ガーミシンは常盤裾

女給 さん数名入用 漁速町でよん さん変の 一丁目 電い四一七

五町談

市內但馬町二〇

ラヂ

大浪速通りて大浪速通り、大浪速通り、大浪速通り、大浪速通り、大浪速通り、大震速通り、大震速通り、大震速通り、大震速通り、大震速通り、大震速速が、大震速速が、大震速速が、大震速速が、大震速速が、大震速速が、

高八千二百九十一人で、順體客數 模型では随る膨張した――「このの『京城瓷』朝博もいよく―本鵬子」ラスを見ては自分の新露品とのの『京城瓷』朝博もいよく―本鵬子」ラスを見ては自分の新露品とのの『京城瓷』朝博もいよく―本鵬子」ラスを見ては自分の新露品とのの『京城瓷』朝博もいよく―本鵬子」ラスを見ては自分の新露品とのの『京城瓷』朝博もいよく―本鵬子」ラスを見ては自分の新露品とのの『京城瓷』朝博もいよく―本鵬子」ラスを見ては自分の新露品とのの『京城瓷』朝博もいよく―本鵬子」ラスを見ては自分の新露品とのの 上機嫌の清浦老伯

ちやア鑑賞に困るのだが」大補鋭しることを平げて「こんなに食べ 協同會は代表を推攀し吉林各順體 股を燃任し今後東北各地方と連緊 間同會は代表を推擧し古

数育を行ふことになった、東北四 を取りのでは、 のため機・ を放っでは、 を放っでは、 を放っでは、 を放っでは、 を放っでは、 を関すして、 であるが、 今回 のため機・ を関すして、 であるが、 今回 であるが、 の回 であるが、 ののであるが、 ののでののでが、 ののでのでが、 ののでのでが、 ののでのでが、 ののでが、 の

**賃家** 新鞭高等性

チチ・モミ大連 ・鈴木丈太郎 電話四六二二番 ・鈴木丈太郎 電話四六二二番 ・鈴木丈太郎 電話四六二二番 **養**煙

物

の御用命は

お八五九八番野山 日本各地 世界各國酒類 工場の諸設備改善の爲め甚だ乍勝手自九月十四日 東京風 東京風菓子謹製 か 5.3 知 養を戦いて居ります 名 5 産 P 3 4 珍 12 食 0

0

00

| 一般民衆の歌謡を除す爲め二十日よ 館開艦方職談しつ、ある外一面一に向つて本月二十五日吉林市民大 呼海鐵道現狀 大連自動車練習所電一大連自動車運轉手募集連 求質 求家

度間 東公康町七〇 家 選接間付 獨身動人に貸し度し 

薬及治療

金庫

算盤

ラヂ

オは何でも

帝 湖 部 電三三六四 治修理技術本位 治修理技術本位

**建見** 與科醫院 西公廟町六九 電話八二〇三 大連市浪速町特田順天堂 婦人 病かりキュー 大連劇場隣根本薬品 **薬局電七八六二** 

五球玉突五

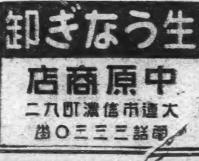
ホネツギ

**婦人** 病 林毒 性墨丸炎 銀灸 療治御好みの方は 日二百一番像ハリ灸専門療院 ラヂ

毛

ヤマ商會電話八七一 九一官サイモトロン 一定價一間 一配五四三九 





時計や 修選は 大通伊勢町 大通伊勢町 大通伊勢町 大通伊勢町 大通伊勢町 大通伊勢町





病室 是 情子 医 學 博士

物タクシ

**禁小**身藥局

大連、大連、支部、大連市西湖り(トキリ標、西農場中間) 張痛にノーシン ガタヤ洋家具は

皮膚病根治お預も致外機番犬の訓練開始 本、東天養浪町一三 金、土、日大連市西公園町一〇五 金、土、日大連市西公園町一〇五 金、土、日大連市西公園町一〇五 級毯

職家教士補助の御高職を名式 に付、市便の学績 に対・市便の学績

連続戦の4メバー大の如し 連続戦のメンバー大連 に遊価、大連用度と戦ふ事に決定 に変価、大連用度と戦ふ事に決定

・二十二十午後三時より西公園:

を破る

から領事館農間でも

に置き支店を漸端に、 が製公司がす受極感に り管製公司がする極感に

→ 資船である、及司は支那人名妻のつてゐる、現在は運搬は船と三井 ・ つてゐる、現在は運搬は船と三井

日来安、世界の

稳注时四丁目 **使四四六三者** 

なった、因に四月夫人は態志者

東郷南部線密門に於ける邦人吉崎 をの當め同地に急行した大場響部 をの當め同地に急行した大場響部 をのはないかと見像されてある所 に使れば城は附近田舎を売してる 入つたもので、ボーイが手程したが、その語る所 に使れば城は附近田舎を売してる のではないかと見像されてある。

をつけてゐたが、來たる二十六日代、開花、千鳥等の懲技連に懲古

演器館で正調追分、博多節等を公

戸友太郎氏は今度一身上の都合に を支店長にして在郷軍人分館長四 では、 古林橋寸長

**客門の殺人强盗** 

澤田師匠公演歌舞師匠

職人時代長春韓同地に向ひ一日清 那川の紅藤符を計盤し、二十二日 那川の紅藤符を計盤し、二十二日

取が、 関係車の先変にて九回を重れたが五 A 繋一のスコアにて長春

公傷巡査を見舞ふ

哈爾賓よりの歸途

皖南旅行記

[土]

優勝した大連チー

4

剛長濱田石一、

情な二丸氏、市民協會副会長職目 大世氏、地方に於ける富豪として 大世氏、地方に於ける富豪として

筆天に於ける全満庭球大會

棋將退敗 騾

金玉

桂香

は 富める田 中 佐 重郎氏等である。 とになれば勝野凌巡するのみかとになれば勝野凌巡するのみかとになれば勝野凌巡するのみかとになれば勝野凌巡するのみかとになれば勝野凌巡するのみかとになれば勝野凌巡するのみかとになれば勝野凌巡するのみかとになれば勝野凌巡するのみかとになれば勝野凌巡するのみかとになれば勝野凌巡するのみかとなる。

順

猛烈を極むる 內地石炭販賣戰 ◇…渡邊氏の視察談

選手の猛練習 日は各種目共野ショードを観出すの三部鉄流・種類では大統一を調べる部共の勝の意気物度く富を加へ各部共の勝の意気物度く富を加へ各部共の勝の意気物度く富を加へ各部共の勝の意気物度く富いを加いる。 ※3二十九日行はるべきが 修祭の撥符駅は二十日各工 者六百行に難し夫々褒念 孔子廟重修報告祭

於て活動寫庫映鑑會を催した 郷戦人分會後援の下に今二十四日人會減刑職合支部に於ては常地在人會減刑職合支部に於ては常地在 帝國在郷でした 答方面有力

物である新市街、御市街、内外総十月六日全金州大運動會唯一の時

本だ名乗揚げぬ に強つたが、今に堂々と名乗を増 に強つたが、今に堂々と名乗を増 に強つたが、今に堂々と名乗を増 がる者もない、高鏡幟よりは現任 がる者もない、高鏡幟よりは現任 候補者

て態等を樂める」とは心臓いの立候補言言に曰く「歩にまるない」の立候補言言に曰く「歩にまない」をパックにして堂々の陣を聯 街

之は市場の趣旨である食料茶舗、金物商、古物商等が



一、假裝行列は登食休憩時間中に委員は左の如し

干名の投票により左記賞品を授會長各委員長、班兵及び來賓若の投票により左記賞品を授 等二十五圓、二等十五圓、三

送州す個人は最後に審査前に整 、申汎假型團體に對しては番號 以下を個人扱とす 台上五人以上を團體技とし四人の數と名稱を九月二十七日までの數と名稱を九月二十七日までの數と名稱を九月二十七日まで、假裝行列に参加する箇所は其 一等二圓、三等二圓

模範魚

采市場は

本月末

迄に竣工

となつ

南軍司令官

店舗は約四十戸

有たない▲君

附近に参集委員の指剛を仮装は常日午前十一時迄 が、市場 放客商舗は魚菜頭を主情が、市場 放客商舗は魚菜頭を主情 の店舗は約四戸で現市場組合員の店舗は約四戸で現市場組合員の は本月末頭完成し十月上旬より開四番通二丁目に新設中の魚菜市場 邦人は全部移る事となると思はれ

安東地方委員選挙も一理 地委選舉界 候補顏觸

源任部尚山岡條崎馬葉塚井

雜開



使に向っても勝目はないから後端の指されて居った。 ではよし近が除すである、彼所が主ないに向っても勝目はないから後期である、彼所が主ない。 はまし近が除置である、彼所が主ないから後期であるし討役に であるし討役に であるし討役に であるし討役に であるし討役に であるし討役に であるし討役に であるし討役に であるし討役に であるし討役に であるし計役に であるし対りと であるし計役に であるし対りと であるし計役に

チブスに感染

呼物は懸賞附假裝行列 二十日午前九時代より同校運阿場 原原公敷室の運動館は既報の通り 一、審查委員(中立)千秋、久留皇 所田、長井(慈雅)加薩,阪元、 将田、長井(慈雅)加薩,阪元、 将田、長井(慈雅)加薩,阪元、 事なく行演終了せしむるやうがあなく行演終了せしむるやうがある。 一點、二點、一點同點の場合は審査採點方法 原 監察底神係長は供消使として参拝 大祭に際し川崎地方事務所長及び 大祭に際し川崎地方事務所長及び て常際通過南行の豫定なりと日午前十一時五十五分急行列車に 三島第二大隊長の初年兵の締閥ある警 の爲め二十日同地に川張 初年兵檢閱 ニナ州、 列車にて常្に通過北行し歸路は五、る十月三日午後五時三十三分急行

大津、高橋真、荒川、 東川、金虎養、孫芸寶、徐岡珊、 中川、金虎養、孫芸寶、徐岡珊、 東一川、金虎養、孫芸寶、徐岡珊、

一に於て開催した を記者協能費とよりなる診療 に於て開催した に於て開催した

中川、金虎葵、珠玉葵、徐護珊、中川、金虎葵、珠玉葵、金井佐文、千葉園族で常野古たる地壁を有して居るので中、 大腹葉で新に候補で新にくました。 これで 新に はまた (本) 「一大 (本) 「 (本) 明の裏面には種々なる事情が存在
明の裏面には種々なる事情が存在
を使補は二十一日夕多り 

安東中野校では十月三日同校々庭 に於て秋季大運動館を催す計畫の に於て秋季大運動館を催す計畫の は金年程を記、白、腎の三組とな し傷勝を筆はしむ事となつた、此 では其の後も郷徴し郷道柔道 には、1000円の三組となった。此

戦の後二十二日朝來安同日午後二大連講電野球部一行は沿線各地聴 南晋1000001 数一二三四五六七八九計

四日評議員の打合會を催し十五日大石橋の職組合は十九日職可があたので、二十り続ての準備も整つたので、二十 小學校運動會

會を廿九日の日曜日に開催する小野校では校庭で摩校のみの運動 ころがあつ 金融組合開業 看護婦の殉職

安中の運動會 公安局長更迭 步步金 氏塚飯 駒持 東上中の高星探木公司選事長は大東上中の高星探木公司選事長は大で勝安した 時列車にて率 射撃會

射撃大會を開催し、既教育未教育 般參加希望 と劉 3 平四 步退步 步

※出面以下指方』△四八金打△六八飛打△三二段成△一三六八飛打は二五桂打を含んで悪くない自信を持つて居りました。
「對局者の感相」(重塚六段日く四八金打は憎しい武器であ△同桂▲三九銀打迄にて志澤氏の勝

所及び常祭等を時間し實情調査を調査の試め十八日來開し地方事務

松田拓務大臣は滿鮮觀察の途次来

松田拓相通過期

奉天へ向った 電子後一時二十分發の臨 一段の一時二十分發の臨

二十五分發列車にて出級した一行五十八名は二十一日午後五時安東聯主催の朝鮮輝置會見物團員

各地著名栗店に **丙岭**報告集は御申越次第進星十 間接りませる。この本本

世界東

中管を子宮頸管造のます。婦人展道法 士保道派には初め中

はれたる淋疾の局所

特に慢性症に適す 凡そ貳週間にて!

日英米佛專賣特許

氏(代調士) 廿二日

運動會

十一日夜赴連

れる全滅大号大會には縄鼠避

大連で開発し

活きた眼から では が生れる ででする。 ででは が生れる ででする。 ででする。 ででする。 ででは が生れる。 ででする。 ででです。 でででする。 ででする。 ででです。 ででする。 ででする。 ででする。 ででです。 ででです。 ででする。 ででする。 ででです。 ででです。

家で、一般は一般ない。

電地支那(戦害場では従来日本側戦) 電地支那(戦害場では従来日本側戦) 電地支那(戦害場では従来日本側戦)

したまい吐動して死亡してる

と関聯して注目されてかる

澤田中佐の祭詞奉職 事、高職、岡本蔵志館長、 成は群殿種に終げした比の日在哈 では、小林長崎青年會長等の 校長代理、小林長崎青年會長等の 校長代理、小林長崎青年會長等の では、新歌地に終げした比の日在哈 では、新歌地に終げした比の日在哈 では、新歌地に終げした比の日在哈

内面的に複雑な関係を造

室に投宿中の瀋陽縣新民府生れ現率天輝前瀋陽・総常の海陽縣新民府生れ現

一時からハルビン郊外部かに殴れ 一時からハルビン郊外部かに殴れ る神、凝脂志士祭は其東津城に於 てハルビン民會主催のもとで擧行 概則の動長関東軍司令官城中將代理 であた、式は野口神官の修歌に高 であた。式は野口神官の修歌に高

が今の處氏は独出馬を歐明しないが今の處氏は独出馬を歐明しないが今の處氏は独出馬を歐明しないが補鑛派たる關係上市民郷としいが補鑛派たる關係上市民郷として認めがたく総尉尾崎氏といふ處

電学氏におはが強つた態があつた をお氏の離避に大いで今度は水脂 たが氏の離避に大いで今度は水脂 たが氏の離避に大いで今度は水脂 たが氏の離避に大いで今度は水脂

横川兩志士

繭

富速後の勝長銓衡に難し策励しへ傷へられてゐるが、一方早くへ傷へられてゐるが、一方早く

日午後二時二十分頃撫順遼陽

町の便

IJ

日

方委員逐度戦は候補の被判によ

名 廿二日夜安東より来奉 名 廿二日夜安東より来奉

別をできまります面では国の公 へ見るに至ります面では国の公 が必ずしの様の跳楽を

地委戦漸

早くも議長問題論議

餘名

奉

婦人や少年團も参加

廿一日午後二時廿五分頃大機樹間の東遼河線播に於て上り十八列間の東遼河線播に於て上り十八列郡老人が線路内に入りアワヤと見るまに轢殺された身元その他一切不明である

殿勢能く運動場に繰込み豫定

し體に

家

庭

案天支部長寄贈賞松本寬二(三 幣賞大田元輔(四十點)三等實及 贈賞大田元輔(四十點)三等實及 不支部長寄贈賞酒拌義次(四 等員及琴天支部長寄

年職それに婦人連等総て五百名の 日子前八時学から陸軍塔歌射撃場 日子前八時学から陸軍塔歌射撃場 日子前八時学から陸軍塔歌射撃場 日本戦略された出場者は一般市 日本戦略と、少 

(卅一點)三等池出豐文(廿六點) 南東文(三十二點)二等岡山盛龍 京教(三十二點)二等岡山盛龍

は、市内字台町東本願寺では4日日から後岸法要を管みつるあるが廿二日より廿六日まで毎日午後一時七日まで毎日午後一時七日を一時七日を一番を着かると

で満たされてログラムによって演り 一出せらる、競技の決勝として一 一田せらる、競技の決勝として一 一田で名を受し、 一田で名を受し、 一田で名を受し、 一日に名を受し、 一日に名を受し、 一日に名を受し、 一日に名を受し、 一日に名を受して主族を打。 一日ともる、競技の決勝として主族を打。 は諸外國人及支那人の招待客を以 は諸外國人及支那人の招待客を以 で満たされて居た で施たされて居た で施たされて居た

熊岳城

く熾烈 少年 国

後三ヶ年を經過せる者は成るべく を指定場所にて施行する冒通知 で各指定場所にて施行する冒通知 臨時種痘施行

檢這日

| では見ることが出來ない光点を表情が成就する七色のかといふと太陽が成就する七色のかといいない。

なんしてるるものなので

務局長は事務の都合により見合せ廿三日來營の豫定であつた中谷警 警務局長來營見合 豫定であった中谷智

を担さしめますから非常に皮膚のを担さしめますから非常に皮膚に直射すると皮膚が見間の皮膚に直射すると皮膚が見ばした血

顔ぶれ揃ふ 氏態度不明

を表生に助ぐ様にすることが助完全に助ぐ様にすることが助きなかれた報告を使って皮膚を十分に弱いなりである。ことに皮膚を全力を使って皮膚を十分に弱いなり、

辞組カタログ進呈

煙に絕對有効

(にせもの御注意)

オゾンと香味の合成作用は禁

強にある

在哈官民三百名參列

社會を風崩する秋懊慨措く

サー日に至って全く揃ったが定員 十一日に至って全く揃ったが定員 本清濃側 小野健治、磯谷新吉、 大陽線夫 大倉友文郎、 大陽線夫 大倉友文郎、 大陽線夫 大倉友文郎、 では全く無競野で勢せずとも 意識確彰であり何等の興味もそっ るのは現委員下山恭文郎氏の態度 で、下山氏は表面候補者たる事を

国民外交協會は廿二日午前十時から 高間類に腱する具體的運動に就いて協議を遂げた 十一日は志士祭、廿二日は日曜廿 三日は秋季島靉祭で三日間各銀行

は、武に離談の要表なく、一覧には営 表面に離談し要面には一般展補を避けたるならんと言ひ、或は 表面に離談し要面には一般展補を を避けたるならんと言ひ、或は では、何れにしても其解談説は多大 の疑問を以て見られてゐる。若し で山氏が出場すれば落選一名とな るので相當猛然な戦びが開始され のですが要するにその部でいる。色素が光著するといふことはあって色が思くなったとは、ので色が思くない。ことはおかりできない。ことはないない。 を有つのでありますから、日野けのですが要するにその為に皮膚がかりでなく内部にも大寒よい影響かりでなく内部にも大寒よい影響がある

開催した、出場選手三階秋季大選動會を新り

田竹けを避けるにはおしろいを濃いたけて仕舞った皮膚を元の通りの とか色々のが緩がありますが一旦 とか色々のが緩がありますが一旦 とか色を のが緩がありますが一旦 とか色を できるとか いることになると大

健にるあせく保め吹きへ結合

幼稚園生

尚新職業等難病 が発生で発生で発生にある方法をいい、供で業になる方法を

溥

です。理想のなどのためによっては、 を完全に脱ぐ様にすることが を完全に脱ぐ様にすることが をです、理想がな皮膚の手生から皮膚 を変です、理想がな皮膚の手生から皮膚 を変です。理想がな皮膚の手生から皮膚 を変です。理想がな皮膚の手生から皮膚 を変です。理想がな皮膚の手生から皮膚 を変です。理想がな皮膚の手生から皮膚 を変です。理想がな皮膚の手生から皮膚 を変です。理想がな皮膚の手生から皮膚 を変です。理想がな皮膚の手となります。 本器を御常用遊ばせ 保健ご節約の為に即刻 別するから時間柄傳染病の摯防となり身大の場所にし微生物や病原盤の極内に侵滅する役目を有する白瓶球神を旺盛にし微生物や病原盤の極内に侵いは協めて殺菌力强く且つ之が吸入は新 最 新 式 調節裝置附

陽に焦げる顔 日灼けを拔く皮膚の手入 婦人を悩ます秋の紫外線 耳遠也人には 大阪港區入縣原總則一 **エヂリン 商舎** は先づ無は統領聴器の使用が 一時 如く殆ど目立たのと

店商川中 四町本南阪大

具任無効返金藥 (建型内服効なき 振替大板四〇三五九番 會歌オリン商會 3 の評好大 校

百六 すまりおてつ待1く早お1く早お 萬 名餘 老 答案用紙と 严 人で何枚でも出せます じ素い晴 ちらい面台 b

管案送り方 動き封にして瓜鏡 部便切手を貼つて お出し下さい で三十次並二貸

參等

V

一下石鹼 價於粉輯 堂帽宛 五百名

四等石鹼容器片價片數量個宛四貳古名

**流等** 

レート進物國産間党個宛貳百名

意等 廿金蒲鉾型指環 皇 層 溶 参 拾 名

計

五

千

名(金鹭云、豆拾四周)

答案送り先…… (の方は)平尾が の関東方面 ) 平尾 贊平商店縣賞係東京市日本情區馬喻町二丁目 商店懸賞係

特別二重賞品を副賞として謹呈-へは前記の賞品の外に再抽籤の上左の へは前記の賞品の外に再抽籤の上左の 等案用紙として家庭楓(價一圓四十銭)

計六萬六百五拾名(金子青整圖) 金七百七拾五圓 剛五拾五錢壺屬地 五百名 千 千 園 が便粉銭空個宛 五萬名 圓 五 圆 券 壶 枚 錢 **空石** 侧線 缩侧 壹萬名 壹百名

五等

金五

四等

金

漬

参等

武等

金五

百

宛券

宣等

愛用 金 五 者 百 大 、懸一 **拾圆券壹枚** 待 粉五拾名

に執行 ○結切―昭和五年一月三十 一日限り△結果發表―昭和 一日限り△結果發表―昭和

數多力

ぼ

どっ

8

多くなる

レ止メに何が一番

のかア

一週間では

日来になれば正解)

をのアレルメにをのアレルメに 等

th. 大……

k 微特 1: 札 躍 k 1: 健性 4 康たれ

落しても 世界第一、 日機指摄 此 印械示動 5 良品廉價 ぬ時 堅正不 元 侧牢確感 店約特洲 東關洲滿 人長營漁旅安 連春口順順東 天前森 營口 土田 大連 時時洋 東京 計計 店店行所 獎金近石經平 田泰江原井間 時 時時 計洋洋洋計計 店行行行店店

ATT N

織ちゃんの方を抱いて行くから

つけてゐるところです。

僕

製造中の巨大な飛行船で組立てられた氣器の骨組の上に膜をはり外形飛行船です。下の寫底は目下米國のレークへーストの工場で

小形飛行船です。下の寫底は目下米國のレ

もので此の間世界を一関したグラーフツエスペリンの弟のやう

篇値をごらんなさい。これは最近ドイツでスポーツ用に造られた比例では飛行船のスポーツさへ船められるやうになりました上の比例では飛行船のスポーツさへ船められるやうになりました上のに製造して人人の貯飾心をいやが上にもそとつてるます。そして

の型の飛行船を次がら次と矢つぎ早

流行時代でする飛行船の大

「楽的ペペー女の子は手をうちさ

いそぎでこちらへやつて來るので

庭があるやうでありますが、からいのだらうと思つてあきらめる家

信氣や光線のやうな快速力で腐砂 戦は私達の五官の一つに関れると

の子は妹の髪を撫でながら叫びま

てきるで銀の様ぢやないか」 乞食

場で 電い並木が ではなく

止れど動きな での電車は

の出來る子供と、少し極つてからた時に「ハイ」と言つて直に返離した時に「ハイ」と言つて直に返離した。

學校や家庭

んでも矢張り少し続つてからでな

でないと返離の出来ない子供とあ ります。後者の方の子供を耳が題

孔て外界か ・ が のであ

らうける刺

永い間の不能の説練によつて或程

れてあります。少し返離が遅いかも明敏にすることが出来るといは

らといって叱りつけるやうなこと

するから言ふ子供を「返鮮の遅い

いと返離が出來ないものでありま

らなければなりませんが、中には 親が大震家であるとかの貸に殆ど 先天的と見るべきものが多く、從 つてから言ふ子供はなかく―一朝 つてから言ふ子供はなかく―一朝

面の専門圏に診せてよく相談なさ

ンソク 大廣場小學校一年

織りぼつちで 雅しいな

返事の遅い子供は

成績もよくな

大廣場小串校長 鈴

木

銀

作

雨夜の電車は

本語めば

配窓にほとほと

雨夜の電車

00

学校

と家

秋原吉三郎

**総碧の空の一隅をかへりみま** は彼の言葉を聞くと笑ひなが

「いきん、

る響が、天便の揺きに膨じておほした。すると空行く白い旅人であ

乞食の子はやがて陽氣な霊のおぢ

つかく

ん。一體僕は何處へ行くんです」

B

「ではすぐかりませら天使さんで

五

してこんなにも綺麗になった自分

早く見せて喜ばしてあげたいと

でしたらう。

しゃるのだからし

いの君のお脳父さ

もう行かなくてはならな

而し天使はやがて乞食の子に申し 0 送葬曲

(七)

んが待つてゐら 抱くと、意気に見渡られながらふっぱりくくなへ上つて行きます。 気はその柔かな背にのせて、これだいてそれを眺めてゐる男の子を L 天使はから云つて女の子を贈に も亦花園を下に大氣の中を預んで

なった質の鳴き離よりほかは、い 地をさがす白鳥の歌や一迷び子に それは何て無持のいと愉快な旅行 瀬の焼物や、階

「天國へ行くんですよ、坊ち 「さあ、さらわ」雲は「寸返事に さんに聞ひました。 「天國てどんな所なんです」

乞食の子はすつかりいく類特です でも悪のおおさんがさら答へた時 響さんは一寸微笑み、そのまゝ高 石で出來たどでも素的な宮殿が見れませまといる。「紫水晶や大理 眠つてゐたのです。

而し間もなく不断思ひ付いて大き な嘘で申しました。 ボン弦を知つてます んですよ、物ちやん かねる

く天間へ登つて行きましたへ 経中福に像達されて一つの感覚と を表しますが、返離の遅い でありますが、返離の遅い 傳達されるのが遅い爲か、又は腦

後は相當研究せられることゝ思ひ

野科は不出來であり、数回や、 い方でなく、殊に數理や、 は六十人以上もあるといはれるの 子供百人中、この返録の選い子供 う言ふ子供は學校の成績は勿論善 あり、數學の悪い 場数育) 神経質の子供にして了は凶様、

返鮮の選い子供があった際は其方 家庭では此監に注意せられて若し 成績に影響 するところ

ロフシセビ °メリシ シカマ スペシオピンマコヘケホラア イハテンデミハマタゴタデシデコマイイマ ゴデ シツ ソ

題正方法を譲つて、落つきのないます。最後に申して置きたいのは 7

も注意が飛ばれてなかつたが、今には、從米あまり壁校でも家庭でには、從米あまり壁校でも家庭で とは肝要なことと思ひます。この シオ タモ D

ナイコトハ センスイ 大チ 大チャン ヤ ニュンノドジンガー タンケン シャウケ (106)ラ ウ

オデサンノ

ナセ サンジャング カナンジャング カナング・バング 毛皮鞣、染、色 バンマデ E

A LANGE SECTION OF

染毛赤 毛5太 黒髪は 女のの 生。命。







チ作

## ヴィタミンBの世界的始祖

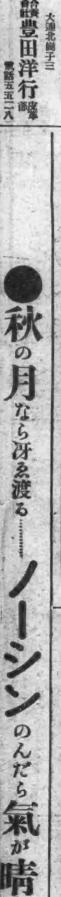
の分略として君が代の常用をお斃め致します中の長高継続で御座います。

脚氣に對するオリザニンの效果は既に決定的事實なり オリザニンは脚氣の外 (1) 重病經過中に來る榮養障碍 及其浮腫の治療と豫防に (2) 人工榮養兒、特に煉乳、 穀粉榮養兒榮養障碍の治療で豫防に (3) 姙婦の榮養を 助け、惡阻を輕減者くは防止し便秘を去るに極めて有效 適切なるを知らる

和末、錠剤、液剤、越援所削、注射剤の各種あり 賞 論 報 告 集 進 量 類似品多数あり オリザニンと指定を要す

共株式





液 为 水 当 十 級 四 十 級

薬鍋にあり

秋の月ならげる渡る

日支兵衝突の原因

# 不法極る公安騎兵隊長の命令

(三名貫通一名官貫全部足部の銃叫伊三郎にて何れも生命に別様な) 郷元中歐土等兵内

ある、事件の原因は二十三日

東京から最初の

大元氣で寺井氏來る

侵入し家人を高手小手に網

けさまた一氣に東京へ歸る

高大先家にて開始総局二號一で盃
 後二時三十五分より駒澤珠場にて
 生東京二十四日登電
 大大駅野球
 一グ野大號立数二回職は廿四日午
 (東京二十四日登電) 六大駅野球
 一グ野大號立数二回職は廿四日午
 (東京十四日設電) 六大駅野球

日本の開始和飛行開始以來初一時料周水子に蓄陸したが乗客は二十四日の下り旅客飛行機は午後

### 感想を語り **| 関員は大満足** 昨夜京城を出發歸途 不社の朝博観光團

橋南報課員芥川光滅氏外一名の都長寺井瀬晋氏及京城より搭乗の両

なは平素旅行好きで曾て東京下の開間を自動車で飛ばした事もありますが、最新折角旅客飛行機の日鮮減聯絡が開始されたに特別の目鮮減聯絡が開始されたにも関いますが、最新折角旅客飛行機の日鮮減聯絡が開始されたに

と慰想を語り大きざで入浴今夜は大きながのを思、本内散がの住民に大京城のを思、本内散がの住民に大京城のを思、一行では一の少年駆員輸出である。同一行は十四日は朝鮮神である。同一行は十四日は朝鮮神である。同一行は十四日は朝鮮神である。同一行は十四日は朝鮮神がある。同一行は十四日は朝鮮神 ゆふべ歸連の途へ 二十四日午前四時ごろ市内北大山 通波止場に測鑑に続れて魚飯を膏 がきつけんとする不審の外人あり、 ぎつけんとする不審の外人あり、 では、一つの中にプロー に、一つの中にプロー でした。大いに繋き後定り でした。大いに繋き後定り でした。大いに繋き後定り でした。大いに繋き後定り でした。大いに繋き後定り でした。大いに繋き後定り でした。大いに繋き後定り でした。大いに繋き後定り でした。大いに繋き後定り でした。大いに繋き後定り

【京城特鑑二十四日級】我社主艦 サドアスタ號三等機論士コラマリー・スノロビアのスピハー のイタリー船ドケ

太連女給向上會 沙河口工場軍

数はず三回一安打一四球に一點と別数を入れ優勢と見えたが其後第一回鹽年光づ敵失と二安打に

一一一小三小田北土石縣赤吉川 二左中中捕三右役三一遊 投右捕 投右捕

膵前廣場を擴張

た解除され何時になったら新職が大連隊の新築は水年度の発算でま まっでは交通も危りく到底が まっては交通も危りく到底が 酸れの前まこって代酸さの

露西亞町波止場から陸揚げせんこ 四月(三)といび、右の像鉄は原鑑を 質町三一水上行商人中村和喜雄(二 で、一大を一大を一大を一大を一大を一大を一大を一大を一大大子の一大上行の人中村和喜雄(二 一大金六千五百冊を中村より受護を 一大金六千五百冊を中村より受護を 一大金六千五百冊を中村より受護を 一大金六千五百冊を中村より受護を 一大金六千五百冊を中村より受護を 漕ぎつけた處を御用

取調を 受けてるるが、後は商賣能大連膨出不虧賦に鑑査なるを利用しこの大虧線を全てたるのである。なは他に共配者ある見のである。なは他に共配者ある見 

歌武長より受えあるの

九月一十日まで 大連市伊勢町 佐井田洋行

地方競馬の

許可申請 大連農會から

院醫科児小島河

島

(新院医派黑)三四国公西市建大 借入八五四話電

食部より六名。和食部、難食部より各二名の振雷として役員に一分感覚である緊要者の振彩により緊要員十名の概態に違いては判めると云ふ頻樂ねか温順しい続さんに返つて練習する者もない、只

る者もない。

赤な唇を開いて自由を呼ぶ女粒塗も恐い小父さんが立ち合って食眼の説明を爲し、原田保安主任一場の訓示を行ったが、平素

関の説明を爲し、原田保安主任一場の訓示を行つたが、平素修3した、陰頭山本館長の挨拶あり、引き讃き倉の趣旨、目的から3人が恋の緊深主二十餘名、大連髪からは特に原田保安主任が翻を

に介添の緊要主ニ十分

2年から岩代町遊業館で競會式を攀げた。 出席女給六十五名ソレーの機能とから浮び出やうと云ふ大連女給向上會は二十四日午後二十時的にも物質的にも関補なる向上競展を遂げて世の誤解と中傷

發會式を學

遂に優

きのふ遊樂館にて

筝銃、弾丸の大衛輸を企つ 歌舞情寒二日は廿三日尾久新っ主催寒九回大嶽専門駅校嗣東選主催寒九回大嶽専門駅校嗣東選 東京帝大 優勝す 本の表面の 本の表面を ないたが狭いでは他大は一般身の差 では大を破って優勝した。之にて では大を破って優勝した。之にて では大を破って優勝した。之にて がンカップ陽東代表として陽西代表園西 がシカップ陽東快勝は帝大工懸部 で記録は七分五〇秒、斯く でで記録は七分五〇秒、斯く 明治戦害が上大倉に出場のため内地に遠近をした満州代表女子水域地に遠近をした満州代表女子水域地に遠近をした満州代表女子水域では紫中二十三日大阪にての建田の東京を重得して幸先を限ひまった。 で女子軍優勝二百米リレー

州内軍勝つ

**育會館立二十周年記念州** 参照球大會

丁目鈴木奥服店に到り階下に壊列三日午後七韓四十分ごろ渡速町三 れ大連署へ突き出された を店職に要別され追踪取り搾べられませる。 大十銭を真弾し逃走せんとした選 の大りので大島純一反情格十五国 ので大島純一反情格十五国

カラデュ SAN SERVE 頭 田 29

取善

昭和四年九月廿五日(水曜日) 自午前十一時 相場 (特産、鍵鈔、株式、各地相場) 中後 (特産、鍵鈔、株式相場) ニュース はり (特産、鍵鈔、株式各地相場 (特産、鍵鈔、株式各地相場) ニュース NADAL PAR

蔵さらる

大賣出し

自十月 1-22-

月月一日室料半減 星ケ浦ヤ

金訂 膀順品正礼6半額提加 抽金割門人 廿玉日 7 批日了一 入青史》

に三脳を加へ総局五人跳一で早た男した、閉殿同四時卅五分が、小心原)

他の見没りを受け帰連の途にむいた時二十分京城設本社支局員をのと時二十分京城設本社支局員をのという。

帝都六大學野球戰

五A對

安東附屬地に

强盗

横行す

お子様靴・五十銭き二圓半

學生靴●二圓五十錢より六圓半

旅行カバンも特價提供

市價の半額品多數

紳士靴・七圓より

九

月

#

##

四 五

H H

廿二日の夜また四人組出沒

商を襲ふて强奪

電東京二十四日第第一日3 会議行事件に連坐せる政友會代議 会議行事件に連坐せる政友會代議 は二十四日年第十一時半より東京 は二十四日第十一時半より東京 控訴公判

飛んだ間違物語 トテモ酸的、経士の総別語さま

ハルビンで裁判

九月二十日より三十日まで

在庫品八萬圓

各種時計、貴金屬品其の他一

金州にある孔子縣の復興落成の最 本る二十九日の日曜日に行はれる 本る二十九日の日曜日に行はれる を表記込みで大連線道事務所では蓄 も多数る も見込みで大連線道事務所では蓄 は大連普臘店間旅帳線の三等弦 孔子祭に増發

通藩十七時十五分 十五分公金州發十六時二十分大 十五分公金州發十六時二十分大

ハス新停留場

5三十鏡小機艦房から二十五鏡で を新設したが、料金は狍子窩か 原を新設したが、料金は狍子窩か がある。小機幅房間に学家収俸留 がある。 が料金は狍子窩が がある。 が、料金は狍子窩が が、料金は狍子窩が が、料金は狍子窩が が、料金は狍子窩が が、料金は狍子窩が

開催日

九月三世調時

帽子は浪華洋

四七〇五

如何にお安いかを一度お調べ下さい

品物は確實 お早いが

割引より七割引

賣

大連市大山面り示記

洋行小青部

臨時特別競馬大會時開始 || 雨天順延

勝馬投票券 

ノーシン!! 頭痛リ ラン川の

マトホテル 電話九一二

指純時

御 震 常 第一六八一系第一三三番 第一六八一系第一三三番 第一六八一系

P

めなら

あがれ!

むが

早 Vo かっ

す

なほる

◆無代進呈(非意思) 員

東京 会 四回公園 発育に地平 「大学」 の 四 日本 「大学」 の 1 日本 「大学 「大 京新康法研究所 該新康法研究所 議

三越が来ると軽高赤ぐなり一巻引の札へ重たい釣をとり 大連 若 葉 冠 大連 若 葉 冠 大連 若 葉 冠

差引の民が集る交換所 大連 一

X外內 近河 柳兒 於 藤 四科病科

機然三町野吉市建大 院医原桐

肺病 是正真

在 A 木 行

流解で御旅行の事は

速に活復する理學療法の發明 70

新理、監理を ・ 一般を ・ 一を ・

校

(110)

出日日

文藝

差別柳

Ł



**水ル・五〇〇** 

C-49

輪船級有限公司

何でも御利用下さい大連条内所大連条内所

沙河口切存強電所

東郷町九三東郷町九三東 略加

一と曾故郷の人々! ・ 一と曾故郷の人々! ・ 自然人泣くく ( 線パーに困る ・ 時 之 助 ・ 時 之 助 ・ 学 名

のたんび政治展弾き沈み

五十名

し間げ

三倍です ・ 中内の約

٤

借した金品物でとる古物商 仕た金品物でとる古物商 大連 長谷川溪廊 差引の減額独ち貯金帳 差引がば少し損する珠はじき

干減の跡を貸して漢の音 指折つて窓引いてゐる膝の上

共同汽船

品店及販店

大阪商船戦

呈進本見容內 r 切 10 n 5 a

最直 原中米人 器さ 語

先

開について 字を と三度に及んだ。 と三度に及んだ。 氏の生命で

解禁の鍵は井上氏の手

街

茂吉

四六版九ポイン・田 **億**定 送料十

がするなら

く至極安心であります。
「大学の完備、原料の精撰、技術の優秀は未だ曾て敷を見ず整く東洋一の定評ある大原式羽毛布トンは如何なるもの」

T

大原商會大連支

羽毛蒲團購買會募集 **一をおあがり**なさい 六ヶ月満了

島

京大四OJ 改造 監験岩下河改造 監験岩下河改造 社

如何に

美

寄特稿別 貧

ピリニューク

合祭治

斯斯里 斯法維持 斯斯里 之知 一山吉佐州
北山子第介義

計畫数 温光 小說 ひを襲 \$ 3 6

II.

文學を包閣する 犯罪 政民何 3 末弘嚴太郎 野季吉

米田庄太郎 横溝 尾 正 史雄郎 格 全 川 場 田 正房四犀 恒哲二 史雄郎星均吾

學生數十名逃亡す 各部隊に逮捕を命令と、というという。

定期機場(單位數) 海州人(10 / 100

現保(後込七三五〇 七三七〇 市 田来市申 京 油 田東下申 高 栗 五二〇〇 五二〇〇 出来高 二十車 1日来市申 日 米 田東下申 日 米 田東下申

市内到る場の電柱、概告板等には 成立せぬ」といふ意味の頻散をかば既交を貼附し「東海を回放せね り附けて氣勢を揚げてゐるが、野電販文を貼附し「東海を回放せね」り附けて氣勢を揚げてゐるが、野

財し電間なく直に意見

め裏面の動揺は離れてくもない、間湖北で江西、慶東の三京二十三日漫業』監禁中の方顕武氏は二十二日南京を駐出

時市街流説を實施し他方出征。紫の繁髄を促す鳥め二十日よ 個方物語しつゝある外一面一つて本月二十五日吉村市巨大 正に組織した。而して同館 野文 タイピスト生徒募集 上解通 日本タイプライタ會社 山縣通 日本タイプライタ會社 女倫 さん敷名入用 浪速町である大人を設める人用 浪速町である人名 さん一葉 一丁目である人名 大人を設める人用 浪速町 はまり また。 一丁目である人を設める。 女給 入用 木人来談あれ

銀路佐野道の常成と廖術其他教型 多數の利益をあげてゐるが、今回 答案状』は極めて膨綿に進る毎年 海鐵道現狀 大家 老虎磯にて年極めで借り 東海大け福身動人の方に 東海大け福身動人の方に 東海大け福身動人の方に 大し家賃二十個より五十 東海大け福身動人の方に 大し家賃二十個より五十 邦文 タイピスト短期養成 東公伽町七〇東 変 遊 接 間 付 獨身動人に貸し度し 

金庫問題

ラヂオは何でも

薬及治療 

给木丈太郎 電話四六二 療治御肝みの方は が成準行 電光四三ル 加ル、全域一層ン



時よの興機は、幾極り松丸氏のみではない。併し爰に御歌参巡に。 ・ 一社 機は決して生で喰ふべから ・ 「社 機は決して生で喰ふべから ・ 「社 機は決して生で喰ふべから

注意を捕はねば精來「牡蠣、

**貧衣** 多點開

清

も

知

44

8

酒

京風でど

5

3

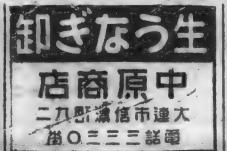
12

工場の諸設備政治の爲め甚だ年數手直九月廿四日の間中

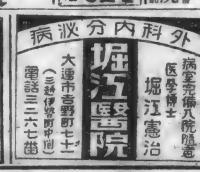
界各國酒

O 00 載されてゐる。





大連伊勢町 大連伊勢町 大連伊勢町 大連伊勢町 大連伊勢町 大連伊勢町 大連伊勢町 大連伊勢町 大連伊勢町



三河町二 池内一電八六七五 一三河町二 池内一電八六七五

門札の瀬戸彫り



不用 品高機質入れ複軒の領法 大谷商店 製造物議して頂升 大谷商店 大谷商店

シンガーミシンは常整橋

語三九一四 語三九一四 大谷寄店 大谷寄店

古本 高優貿受市内但馬町二〇市内但馬町二〇 高優貿金融市 高優貿受





フヨ・ウ品

牛乳 バタークリー

天人四一 年3九 なる大正牧場

以内のこと 数書歌 新聞行量五十名 のは採らず

及蔣聯盟

0

滿洲日報

中古に対象に対象を表現して、

皮膚病根治お預も致外 小鳥ュサ器具一式康賢

機能は方に於ける郷人害働 を四十五分の長したが、その語る所 を四十五分の長したが、その語る所 を四十五分の長したが、その語る所 を四十五分の長したが、その語る所

動館で正綱追分、博多職等を公

電が 二十日の夜森公司の佐藤氏を訪問 に出かけた、 ・ 佐藤氏はそれは残念であつた。今 近き上部機械 人間で

があるので国氏の案内で輸出

朝八時半是春鼓同地に潭山の紅藍符を計造し

公傷巡査を見舞ふ

哈爾賓よりの歸途

皖南旅行記

内地石炭販賣戰

◇…渡邊氏の視察談

エスペラント

浄水場の擴張工事ご

上業用水池新設

が、既に九分されている。

強烈を極むる



未だ名乘揚げぬ

四平海區地方委員選事期日は目前四平海區地方委員である機制區長の子安越、海線線よりは現任

物である新市海、郡市海、内外線 於て活動寫底既鑑賞を催れり入日全命州大壓態能艦一の略 午後六時三十分より小駅 中後六時三十分より小駅

候補者

二十日午前九時半より同校運師場開原公學堂の運動會は野報の通り 公學堂運動會

の店舗は内田戸で現市場組合員のの店舗は内末電完成し十月上間より開いまるが、新設市場に牧客 本月末汽

收容店

に竣工

候補預觸地委選舉界

相場を定め構成市場とする試験で ので居るとの事で、別場の頃には 安東谷方面の相場を調査して公定 舗は約四十月 を受けない。 を受ける。 をでした。 南軍司令官

の成立を見四十ヶ年無塚の全部をは中日寛楽公司との間に借頭を約 



開

は出来なかつた。其の

製鐵所創立十周年 記念の大運動會 呼物は懸賞附假装行列

及び衝撃等を誘問し實情調査を

松田拓相通過期

避を受け二十二日朝急行院へ夫人、令麟同伴官以高屋採木公司頭事長は大

特に慢性症に適す

凡そ或週間にてし

おるやう努力を表する 列車にて営際通過北行し圏路は五公十月三日午後五時三十三分余行を出拓務大臣は瀬鮮戦疾の途大楽

の含め二十日同地に出張 の含め二十日同地に出張 の含め二十日同地に出張 て常驛通過南行の豫定なりと日午前十一時五十五分急行列車に

中心、金虎震、飛天寶、徐崎珊、大津。高橋直、荒心、養子、中島大津、高橋直、荒心、養子、中島村、大津、高橋直、荒心、藤子、中島

公安局長更迭

射撃會

初年兵機関 ニチド、五 曲第二大隊長の初年兵の始間あ

般參加希望

職員と記者協議とより 高を二十二日午後六時でより二英語を二十二日午後六時でより二英語 

安中の運動會

る事となった

市場は 

東

らは金井佐大氏が掘り出場する事的は金井佐大氏が掘り出場なる事情が存在明の裏面には種々なる事情が存在明の裏面には種々なる事情が存在 となつた 

大連編電野球部一行は治賦各地の大連編電野球部一行は治賦各は開始安浦軍は失策を開出に大戦三にて敗れたメンバー 満電軍勝つ

大石橋野町内科君岡崎中村えき子さんは内外の評判もよく戦勢にも 地震であつたが不幸風者のテブス 地震であったが不幸風者のテブス 地震が出出一日に飛伏を行ったが めに確れ廿一日に飛伏を行ったが が、最近、一般であったが かったが 小歌俊では校盛で歌校のみの歌町 金融組合用業の職での製鋼を配出合用業員の行会館を配し出五日田無難員の行会館を配し出五日との意楽を開始することになった。 1十五日 東京がある 1十五日 東京がある 1十五日 東京があることになった。 1十五日 東京があることには、1十五日 東京があることになった。 1十五日 東京があることには、1十五日 東京があることになった。 1十五日 東京があることにはなった。 1十五日 東京があることになった。 1十五日 東京がある。 1十五日 東京があることになった。 1十五日 東京があることになった。 1十五日 東京があることになった。 1十五日 東京があることになった。 1十五日 東京があることになった。 1十五日 東京があることになった。 1十五日 東京がある。 1十五日 東京がりまる。 1十五日 東京がり 1十五日 東京がりまる。 1十五日 東京がり 1十五日 東京がり 1十五日 東京のは 1十五日 東京がり 1十五日 東京がり 1十五日 東京がり 1十五日 東京のはりまる。 1十五日 東京がりまる。 1十五日 東京がりまる。 1十五日 東京がりまる。 1十五日 東京 チブスに感染

税上云ふべくして気

昭して午後四時頃終了した。全堂生徒の合同歌劇を近切めた。全堂生徒の合同歌劇を皮切めた。全堂生徒の合同歌劇を皮切りに親なは順序好く百数十回に耳り 川倉吉州氏は戦闘水響編災病院・戦場管府事務官城循瀬、国曜市 鮮農水災調査 棋將退敗 驟

た大連チー

天に於ける全満庭球大

▲問柱▲三九俣打造にて志澤氏の勝・・ 本の日本▲三七株成玉△三三成県=・▲三五柱△五三角成▲一七金△日香▲三七株成玉△三三成県=・ 本の日本・三三大田田 は、「一大田田」 「一大田田」 「一大田」 「一村」 「一大田」 「 【層は七八飛丘辺の局面】 角成▲一七金△■香▲三七株成 金玉

接顧る良好であつた に終て實理射響演習を行つたが成 に終て實理射響演習を行つたが成

-五分級列車にて出徴した
-五分級列車にて出徴した
-五分級列車にて出徴した

日英米佛專賣特許

時列車にて孝天へ向つた所を護撃し午後一時二十分裂の臨所を護撃し午後一時二十分裂の臨

報告集は御申越次第3 **费贾龙 友田** 

地帯名栗店に 権類を = - -0 0 0 \* \* \* A A A 16

は中管を子宮頸管隊

海船である。 発在は運搬は船ど三井のである。 現在は運搬は船ど三井

追へば 匪は早く逃走してしま

◇・田雷・池田藤四氏は二十八八邦能率川宛弁の標成エフイシエ





人口 基島增 養房 房房部

答案送り先……

(明東方面) 平尾 賛 平商店 懸賞係

(のかは) 平尾 贅平 商店 懸賞 係のかは) 平尾 贅平 商店 懸賞 係

の評好大

すまりおでの待! (早お! (早お

四等石餘容器上標準衛皇個完四貳古名

計

五

千

名(金寧子六百五拾四周)

参等レート石鹼偏然無質個宛五百名

武等レート進物画証明豊個宛貳百名

意等廿金蒲鉾型指環 **意**個宛**学**拾名

尚新職業差難病

專

答案用紙として家庭紙(優) 四四十銭)

百六

在哈官民三百名參列

**辞訓カタログ進呈** 煙に絶對有効 オゾンと香味の合成作用は禁 振替大阪四〇三五九番 (にせるの御社館)

千五萬

b.

オソンは極めて設南力風く且の之が吸入は新 を増加するから時節病情染病の電防となり身 を増加するから時節病情染病の電防となり身 を増加するから時節病情染病の電防となり身 を増加するから時節病情染病の電防となり身 本器を御常用遊ばせ 定 | 普通丸形一組一関一個半二間三圏以」 價 | 十圏迄マドロス形七圓五十銭と三國4

保健ご節約の為に即刻 最 新 式 調節 裝置 附





日灼けを拔く皮膚の手入



00 落扱っても 世界第一、 to 和 此ら 印城示動 t 良品廉價 ぬ時計 **坚正**术 たれ 來關洲滿 店約特洲

感時計

到春口順順東

奥金近石標平

田泰江原井間 時 時時 計洋洋并計計

店行行行店店

人で何枚でも出せます じ素い晴 さらい面 曲 も多 壹等 五等金五千 四等 參等 **煮等** 計六萬六百五拾名(金至岩臺) くなる。 愛用 金 金七百七拾五圓四五拾五錢豐網宛五百名 金五百圆斑照射華俄 金質千 お 川の 若 返りに かん 性 下 地に 五百 6 者 理規定 △答案は楷書で明確に ※記す△賞品の荷造婆送料等は ※記す△賞品の荷造婆送料等は ※記す△賞品の荷造婆送料等は を部電方で資務致します△抽籤 に執行の事 天前森 營口近江半時計計 店店行所 MIL 圓サン 園 坂須拾銭登個宛 五萬名 圓 拾圖祭堂收與 五拾名 懸地 △締切―昭和五年二二 一日限り△結果養表― 二日限り△結果養表― 6 6 5 個 6 賞品 等 -粉蛋百名 旅吃--

目民五百餘名の

盛んな射撃大會

婦人や少年團も参加

で各指定場所にで施行する冒通知常地方面臨時種痘を左の棚日に於 臨時種痘施行

が多かつた▲いかめしき繋縛の 都君が前壁を引着て♪にはか仕立 の観定取は男前が下がつたので登 の観髪に腰に繰びの配足は骨が折 の服装に腰に繰びの配足は骨が折 の服装に腰に繰びの配足は骨が折 の服装に乗びの配足は骨が折

町の便り

後三ケ年を經過せる者は成るべくあり規定の整種者以外と戦も種痘

いつて婦人は秋 っれてゐることですがそれ程急に強いっけるとかいふ方法は昔から行は 却のてて また

毛皮舞、柴、色

**設豊田洋行** 

秋

の月ならげる渡る

のんだら

大連北崎子三

雨夜の電車

「ではすぐ参りませら天使さんで

體何處で汽車に乗るんです」

なつた関の鳴き膨よりほかは、

悪をかすめて行く無の機携や、飛

でも無のおぢさんがさら答へた時

維碧の空の一階をかへりみま

い族人であ

乞食の子はやがて陽無な態のおぢ

一體僕は何處へ行くんです」

545

う言ふ子供は単校の成績は勿論善 その何れにもせよ、頭腦に多少帳

神経質の子供にして了は山間、注意正方法を譲つて、落つきのない

最後に申して置きたいのは

遅いばかの二つの場合であります

~ 天間へ登つて行きましたへ

るたのです。

気持です

大み、そのま」高

神経中権から愛感機関への修遂が修遂されるのが遅いほか、又は脳

後は相當研究せられることゝ思ひ

ことは一部の醫者や心理學者の外 には、從來あまり學校でも家庭で

3

力

ん、やさしい気さ

彼の言葉を聞くと笑ひなが

を早く見せて喜ばしてあげたいと お顔父さんを思ひ出しました。そ してこんなにも綺麗になつた自分

而し天使はやがて乞食の子に申し

もう行かなくてはならな

(本へ上つて行きます。

而し聞もなく不識思ひ付いて大き

「さあ、さうね」無は一寸返事に こまつて思彩館をしてゐました。

も亦花園を下に大気の中を飛んで

點はその深かな背にのせて、これ

行くのです。

石で出來たどても素的な宮殿が見れず北下の中には、紫水晶や大理

えるでせうっさうです。天國はあ

ボン玉を知ってますかね。あのシ

く、焼ちやん、それシヤ

れは何て気持のい」愉快な旅行

| 天使はから云つて女の子を腕に

北風の

七

一里のおぢさんは答へます。

「大國へ行くんですよ、坊ち

さんに問ひました。

ミツカツタコトデス。大チヤン



は競与やんの方を知いて行くから 大使の前にひざまづいて脱壁に申 ってはこの切ちゃんを励むよ、僕 一砂もが入りませんでした」懸は「い入天脈ですの比異感来るのに

進中の巨大な飛行船で観立てられた頻素の管観の上に際をはり

船です。下の直載な且下米間のレー

ハーストの工場で

セミガナク

7.

セミガナ

ンマ

ツチデ

**高级** 计图 18618018018

の子は妹の髪を撫でながら叫びま っまるで観の機ちゃないか」で食 寫践をこらんなさい、これは最近ドイタでスポーク用に造られた免頭では飛行船のスポークさへ始められるやちになりました上の もので此の間世界を一周したグラーフフェラペリンの弟のやらな寒霞をごらんなさい、これは最近ドイラでスポーク用に造られた に駆出して人人の好奇心をいやが上にもそれつてるます。そしての本場のドイクではいろくくの型の飛行船を求からすと外できず 飛行船時代 今年散は現行船の大

の型の飛行船を大から大と矢つぎ早

(日芹水) つ素的々々し女の子は手をうちま 客はなく ぎでこちらへやつて来るので でないと返酵の出來ない子供とあ ります。後者の方の子供を耳が驅

止れど 臓をの 電車は

なりはつちで 雨の音 たほとほと 識めば

頭夜の電車は しいな

た時に「ハイ」と言つて直に返離した時に「ハイ」と言つて直に返離したり、又は何か跳ねられ の出来る子供と、少し経つてから 返事の遅い子供は 成績もよくな 学校 大廣場小學校長 と家 銀

一覧無や光線のやうな快速力で顕神 人て外界か らうける刺 んでも安眠りゆし軽つてからでないよ子供は、いくら大きい眠で呼 すっから言ふ子供を「返解の遅い いと返除が出来ないものでありま

ってから言ふ子供はなかく、一概が大海家であるとかのはに殆ど 規が大海家であるとかのはに殆ど 永い間の不断の訓練によって或佐 らといって叱りつけるやらなことれてあります。少し返酵が難いか も明微にすることが出来るといは 夕には治り難いのであります

亦

大廣場小學校一年 3

**摩科は不出來であり、數學の悪い** い方でなく、殊に数戲や、記憶の 面の専門層に診せてよく相談なさ返酵の選い子供があつた際は其方 家庭では此殿に注意せられて若し は六十人以上もあるといはれるの 子供百人中、この返離の遅い子供 大震場小郎校二年 7

七

とは肝要なことと思ひます。この ピテ シタ。ソロ レカ

大チ 4 ノタンケン (106 1 ル ラ : ゥ チ

センスイテイラ ヒッ MISONO CREAM











オリザニンは脚類の外 (1) 重病經過中に來る荣養障碍 及其浮腫の治療で繋防に (2) 人工榮養兒、特に煉乳、 穀粉栄養兒栄養障碍の治療と豫防に (3) 姙婦の栄養を 助け、惡阻を軽減若くは防止し便秘を去るに極めて有效 適切なるを知らる

私末、錠剤、液劑、越幾防劑、注射層の各種あり 賞 驗 類似品多数あり オリザニンと指定を要す

共株式會



御差遣 感想を語り

不法極る公安騎兵隊長の命令 日支兵衝突の原因

们射擊

果京から最初の 空の旅行者

人元氣で寺井氏來る けさまた一類に東京へ歸る

日満職務 飛行開始以來初一時學鵬水子に避墜したが業客は一時學鵬水子に避墜したが業客は

昨夜京城を出發歸途へ

本社の朝博觀光團

である、脚一行は十四日は朝鮮神である、脚一行は十四日は朝鮮神である、脚一行は十四日は朝鮮神である、脚一行は十四日は朝鮮神 を諸外國の航空界の發達に比較 を諸外國の航空界の發達に比較 を一類に乗れ通した人のないの を一類に乗れ通した人のないの を一類に乗れ通した人のないの を一類に乗れ通した人のないの

安東附

等學校准決勝一大連所業 レフェ 時元十分レフェリー・小巡客が 時元十分レフェリー・小巡客が に商業は悲憤の涙を存んだ、試合 に商業は悲憤の涙を存んだ、試合 に商業は悲憤の涙を存んだ、試合 で、一中のフォローの確實なゴー に商業は悲憤の涙を存んだ、試合 で、一中のアオローの確實なゴー に対する。 の涙を存んだ、試合 で、対応となった商業は後 のに見事で盗。 のに見事でる。 のにしまでる。 のにしまできを、 のにしまでを、 のにしまできを、 のにしまできを、 のにしまできを、 のにしまできを、 のにしまできを、 のにしまできを、 のにしまできを、 のにしまできを、 のにしまできを、 のにしまでを、 のにしたりを、 のにしたりを のにしたりを のにしたりを のにしたりを のにしたりを のにしたりを のにしたりを のにしたりを のにしたりを

教科書値下

文部省令を改正

値下げるため出版會社を教會社指 等の中等態校教科書と対示。三鵬 等の中等態校教科書と対示。三鵬

整理の

め

投賣

在庫品八萬圓

各種時計、貴金屬品其の他一切

十日より三十日まで

経書として使用し得ぬ機省令を改定して指定會社以外の川版書は数

割引ょり

七割引

品物は確實

お早がい

る事となった

如何にお安いかを一度お調べ下さ

浪速町

話

四七〇

X

属地に

强盜 廿二日の夜また四人組出沒 一横行す

孔子祭に増設 一本る二十九日 一本る二十九日 一本る二十九日 一本る二十九日 一本る二十九日 一本。 一本の祭典が金州民政支書によって 一本の行樂を乗れ続拝者も多数あ る見込みで大連鎖道事務所では常 る見込みで大連鎖道事務所では常 の長典が金州民政支書によって で大連鎖道事務所では常

復二糖脂をなすほか岩の通り二、日は大浦普闡店間厳戦線の三等往の見込みで大連繁道事務所では當

のる。大浦殿の表文開大 一行の見物 一行の見物 た際院され何時になつたら新院が まみでは交通も続くと到底演まされて を添った。午前七時十日本棚駅限から瞬前にかけての混れた。之で幾分此框盤が緩和されて 本ののので、大浦殿の表文開大 一行の見物 といふ熟 性は危險比上なくまるで観知らず 直に朝博観察といふ熟 性は危險比上なくまるで観知らず 直に朝博観察といふ熟 を添った。午前七時十日本棚駅限から瞬前にかけての混れた。之で幾分比框盤が緩和されて 本の方で自動車、電車、バスに関 他部に清鏡は以前から瞬の新築の代 る一方で自動車、電車、バスに関 他部に清鏡は以前から瞬の新築の代 るであらら偏望聴前の膨揚も同様 大道院の新築は水年度の養菓でま を変った。そのて来た、従って降前院 れた、之で幾分比框盤が緩和されて なであるら偏望聴前の膨揚も同様 大道院の新築は水年度の養菓でま をであるら偏望聴前の膨揚も同様 大道院の新築は水年度の養菓でま をであらら偏望聴前の膨揚も同様 大道院の新築は水年度の養菓でま に降前院場は色んな車の山でこの はた、之で幾分比框盤が緩和されて なであらら偏望聴前の膨揚も同様 大道院の表述に、といる解析をなして居る、殊一窓のあり、 はたがやつと水年度が緩和されて なであらら偏望聴前の膨揚も同様 大道の表述といる複様である に降前院場は色んな車の山でこの はた、とで幾分に框盤が緩和されて なであらら偏望聴前の膨揚も同様 大道の表述といる複様である に降前である。 歌重慰人邀請に苦心しつゝあな 類々として出沒し雪局において 不商を襲ふて强奪 中等學校

池外大宵熊赤中大山平三秋坂總

膜ふた一味と同一らしいと 紀人判明するであらう、 州內軍 第二囘

技倆伯仲し終結接戰に接戰

原川

材理谷

M

蔵さらる

・大賣出し

念庭球大会

九月 三十日まで

佐井田洋行 等 透照 五五二等

決勝戦

特重、鏡鈔、株式各地相 第廿課訪問 大連 河 道 島

初心省與智、機 (新院医, 黑)。一团圆公园市建了 電話四面八八曲

昭和四年九月廿五日(水曜日) 自宇蘭十一時 (特重、鏡参、株式、各地相場 (特重、鏡参、株式、各地相場 (特重、鏡参、株式、各地 第一部の は今殿陽東原の能可を得て従来の は今殿陽東原の能可を得て従来の 所を新設したが、料金は糖子臨か が、料金は糖子臨か ス新停留場 ラジョ 18四层中国 取 田 四

ATTA PROPERTY

勝馬投票券

※星ヶ浦競馬場 金世五曜二種 競馬場

馬

開催日

景色出

十九日(金)

雨天順起

追

1.

別競

馬

會年時開始

自 ノーシンコ 頭痛り

シン世

閉鎖致します 簡易ホテル)は九月二 星ケ浦ヤ 7 一十日根 トホ



指純時 才的 順品正礼·并額提拉 政部引入賣哭 割四五割引 U 機勝試合闡始午後三時三

小谷百合子さん 小谷百合子さん

東門駅校一般機能原配=大連 り開始レフェリー伊藤、衛門 の中中 四一二二十二三一番 の試合極過次の如し Y M C

北んだ間違物語 ・テモ酸的い領土の稲尻話さま ・テモ酸的い領土の稲尻話さま

大連市大

山瀬代理店

永記

YMCA 新智教歌
DF山本 DF 侍韓光 二時
LF太西 LF 觸蓋電流分
C 西 C 王士總
RG 月上 RG 何榮昌
LG山邊 RG趙世匡
LF 富世煌

となった

學生靴●二圓五十錢→◆六圓半お子 樣靴●五十錢→◆二圓半 旅行カバンも 秤士靴●七 お子様靴・五十 價 0 半額品 特 價提 多數 供 プレ 月 # 四三 六 五

日日 日

電話ニーニ五三番 洋行小青部

院元鵬宮殿下を御差遣はさ 戦働機駅の御思召を以て閑 戦の機関の御思召を以て閑

女性らし

驛前廣場を擴張

やつと來年度豫算を承認

柔い観察

一行の見物

【京城特信】十三日の朝俸は我社が、更に溝鏡婦人協館の一行三十五名が色彩を添った、午前七時十五名が色彩を添った、午前七時十五名が色彩を添った。午前七時十五名が色彩を添った。

奉天軍を屠つて

入連三たび連勝す

本溪湖對大連 本溪湖對大連 林門 谷四—三

なる耐勢変を繰り入時過ぎ機能しなる耐勢変を繰り入時過ぎ機能しな大き年代田通り再駆称に発標し膨大を千代田通り再駆称に発標し膨大 

中と工専

間は非二月西腹様コ

全満監球大會の成

決験がある。 決験がある。 のである。 をいきませる。 をいきませる。 をいきませる。 というでは、 はいきませる。 はいきもな。 はいもな。 はいも。